

平成 21 年度 総 会 報 告

平成 21 年度総会及び講演会が 6 月 9 日(火)午後 1 時 30 分から、B I Z 新宿(新宿区立産業会館)・多目的ホールにおいて開催されました。来賓として(財)産業教育振興中央会専務理事の中山淑廣、東京都公立高等学校長協会副会長の木暮守雄様(都立足立工業高等学校長)、東京都中学校長会副会長の牛島正廣様(目黒区立東山中学校長)をお迎えしました。

開会にあたり、西澤会長から次のような挨拶がありました。「教育問題は多々ありますが、職業に対するものの見方や職業観といいますが、子供の頃から育成されていくという社会風土が、今の日本では薄くなっていることが大きな根本問題ではないかと思えます。

世界全体が大不況の中、ものを作る力、開発する力、ものをきちっと売っていくマーケティング等、各現場の地道なフォアマンたちの力が発揮されるという体制が、今、大切なのではないか。

そういう意味で、職業コースの内容を更に充実することは大事なことで、同時に高校の普通(科)ではなくて、各々の専門コース或いは職業学校へ進んでいく選択が、誇りを持って行われる教育体制・体質も日本全体で作っていかねばならないと思えます。皆様のお力添えをいただきながら、都産振も微力を尽くしながら頑張っていきたいと思えます。」

引き続き、常任理事の森口純都立学校教育部長から産業教育に関し、次のような挨拶がありました。

「都立高校改革推進の一つとして、4 月に大田桜台高校というビジネスコミュニケーション科を設置した 2 校目の“進学型専門高校”を開校しています。平成 22 年度には、2 校目の科学技術高校を小金井地区に開校予定です。特徴は、先端的な科学技術を学ぶということで理工系や薬学に進むのですが、大学、企業からのアドバイザー制度などを設け、最先端技術を身に付けていこうというコンセプトになっています。

今年度、新たに『ものづくり教育推進会議』を設置し、その中でこれまでの成果などを検証し産業界との連携等を具体的に検討したいと思えます。本日の総会でこれからの産業教育の振興と充実、発展といった点でご指導を賜れば幸いです。」



5 月 22 日の理事会において選任された平成 21 年度の会長、副会長の選任結果と理事長、常任理事、常任監事について、以下のような報告がありました。

- 会 長 西澤 宏繁
(株)東京都民銀行代相談役
- 副会長 久保村昭衛
TDO グラフィックス(株)CEO
- 同 金子 昌男
(株)カナック企画相談役
- 同 本多 吉則
東京都立芝商業高等学校長
- 理事長 大原 正行
東京都教育委員会教育長
- 常任理事 森口 純
東京都教育庁都立学校教育部長
- 同 加藤 裕之
都教育庁都立学校教育部高等学校教育課長
- 常任監事 鈴木 信孝
都教育庁都立学校教育部高等学校教育課管理係長

次に、以下の議案が提案され、審議の結果、各議案とも原案どおり承認されました。

- 第 1 号議案 平成 20 年度事業報告(案)
第 1 号議案 平成 20 年度決算書(案)
第 1 号議案 平成 20 年度監査報告
第 2 号議案 平成 21 年度役員選任(案)
第 3 号議案 平成 21 年度事業計画(案)
第 3 号議案 平成 21 年度予算(案)

引き続き、産業界会員功労者(永年会員)の表彰が行われ、西澤会長から各社の代表に感謝状と記念品が手渡されました。